

西覚寺だより

第二号

二月・六月・十月
年三回発刊予定

盂蘭盆会

● 日時 七月十五日(日) 午前十時半～

● 内容 ・正信偈のお勤め

・ご法話 恩徳讃唱和

※ 御斎振舞 正午十二時～午後一時

物故者追悼法要

● 日時 七月十五日(日) 午後一時～

● 内容 ・阿弥陀経と正信偈のお勤め

・ご法話 恩徳讃唱和

※ 西覚寺のご門徒の方で、昨年六月から本年五月に御往生

された方を偲び、勤める法要です。ご家族の方には別途

お焼香のご案内を同封しております。

※ ご家族以外の方も、どうぞお参り下さい。

盂蘭盆会・物故者追悼法要ともに

● 御講師 岡山県 塩田信成 師

(若手・本願寺派布教使)

● 持ち物 経本(正信偈が載っている)、お念珠、

門徒式章(お持ちの方)、御仏前

浄土真宗のお盆

みなさん、こんにちは。二月の第一号以来、二度目の刊行です。

さて、東海地方も梅雨入りし、じめじめとした毎日ですが、この梅雨が明ければ、夏本番。仏教の夏と言え、**「お盆」**ですね。そのお盆について少しお話させて頂きます。

お盆と言えば、例えば八月十三日に御先祖の方がこの世に還^{かえ}つてきて、十六日にまたあの世に戻る、という話が一般的かと思えます。このように日本では、仏教渡来とともに、お盆は「先祖供養」の法会^{ほうえ}として定着しています。これはこれで、日本のひとつの伝統なのかなと思っています。

ですが、私たち浄土真宗では、お盆をこのように考えているわけではありません。阿弥陀さまをおたのみして、お浄土に生れられた(往生された)方は、仏さまと成られます。



仏さまと成られた方は、またこの世に還^{かえ}ってきて、

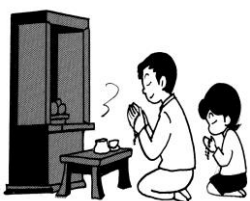
いつでも、どこでも、

私たちが救うはたらきを続けておられると受けとめていきます。つまり、私たちとともにいてくださるのは、お盆という期間に限定されるといってもありませんし、血縁関係の御先祖の方に限らず、亡き人すべてを含みます。

ただ、私たちは日ごろから、亡き方々のはたらきを思い続けているわけがありません。幸いに、日本では多くの会社や学校が、このお盆の時期はお休みになりますので、この時期に、ぜひ家族でお参りさせて頂きましょう。手を合わせながら、亡き方々のこと、そのおはたらきに想いを致す、ひとつの節目とさせて頂きたいものです。

(参考:『浄土真宗のお盆』)

白川晴顕 師



▼お寺ヨガ

西覚寺では、ヨガ教室を継続して開催しています。この4月からは、それぞれの目的に合わせて参加しやすいよう、クラスを二つに分けて、開催しています。みなさまの参加を心からお待ちしております！ 参加費は、それぞれ500円です。

●リラクソスヨガ教室(初心者・高齢者向け)

7月23日(月) 10:30～

●リフレッシュヨガ教室(中級者向け)

7月10日(火) 10:30～

※ 参加を希望される方は、西覚寺までご連絡ください。

【朝活しませんか?】

西覚寺では、毎日朝7時から、本堂で正信偈のお勤めをし、お勤めのあとは、御文章を拝読しています。

また、第一日曜日は、

『朝の法話会』を開いています。いつも通り、7時から正信偈のお勤めをしたのち、住職が10分程度、少しほっとするような、またはわが身を省みるような、そんなお話をさせて頂きます。

お近くの方は、ぜひ一緒に【朝活】しませんか? そして第一日曜日は、仏さまのお話を聞かせて頂きましょう。



▽正信偈に学ぶ会

西覚寺では、常例法座として、毎月一度、「正信偈に学ぶ会」を開催しています。現状、8名の方がご参加くださっています。いつもお勤めしている「正信偈」。その読み方の練習と、正信偈の内容をお話させて頂きます。みなさんも、ぜひ一緒に聞かせて頂きますか? 参加費は、500円です。

●正信偈に学ぶ会 (基本、毎月第一日曜日開催)

7月1日(日) 15時30分～17時

※ 参加を希望される方は、西覚寺までご連絡ください。

▼茶楽会

西覚寺では、月に一度、茶楽会という「お茶会」・「女子会」を開催しています。現状、10名弱の方がご参加下さっています。みなさんで仏事や作法について学び、その後にはワイワイとお茶会しませんか? 特に若い方、大募集です!!

参加費は、500円です。

●茶楽会(基本、毎月第四日曜日開催)

8月26日(日) 15時30分～17時

※ 参加を希望される方は、西覚寺までご連絡ください。

※ 6月は17日に開催しました。

※ 7月はお盆参りが始まっているため、お休みです。

◆住職の一言コーナー◆

昨年末に生れた娘の名前を、「相(そう)」と名付けました。

「どんな意味が込められているの?」とお参り先で聞かれます。

まずひとつは、独り善がりにならず、「相手」を思いやることのできる人になって欲しい、という願いです。

仏教は「縁起(えんぎ)」を説きます。すべての事象は、「縁(よ)って起こる」ものであるという意味です。それは私たち人間関係も同じで、あなた(相手)がいるから、私があるのです。決してひとりで生きているわけではありません。

「あなた」があつての「私」なのです。もうひとつは、「相」という漢字を、仏教では「すがた」と読むことがあります。(次号へ)



浄土真宗本願寺派

西覚寺

安城市朝日町12-8

☎0566-76-3594

<http://saikakuji.sakura.ne.jp/wp/>